

二級河川 野呂川水系 中畑川

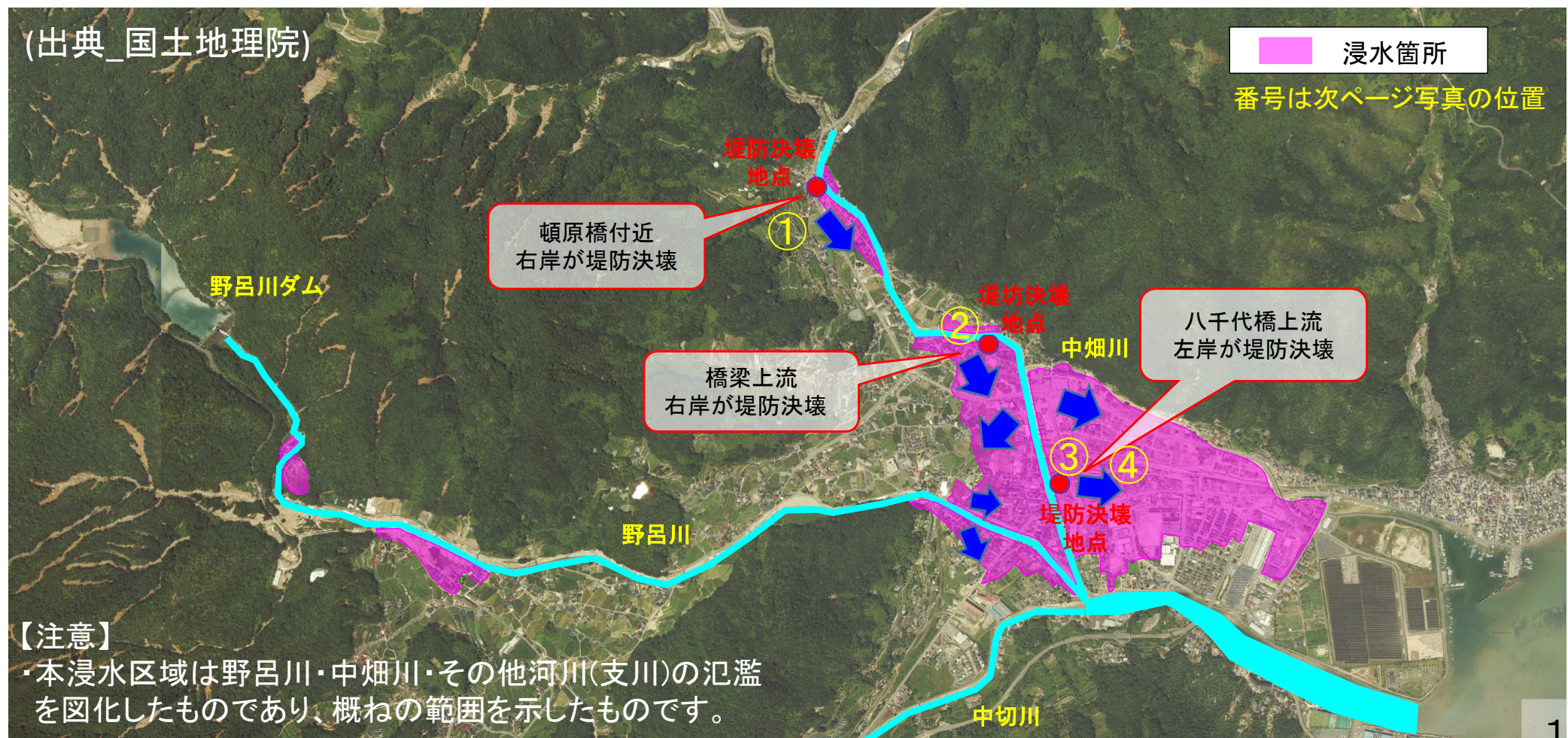
河川改修事業に係る事業説明

令和6年9月29日



■平成30年7月豪雨における浸水状況等

- ・中畑川においては、平成30年7月の大雨で堤防からの越水が発生するとともに、3箇所で堤防が決壊し、広範囲に家屋浸水被害が発生しました。



中畑川河川改修事業について ～平成30年7月豪雨での被災状況～



被災要因の一つである
流木埋塞



被災要因の一つである
流木埋塞





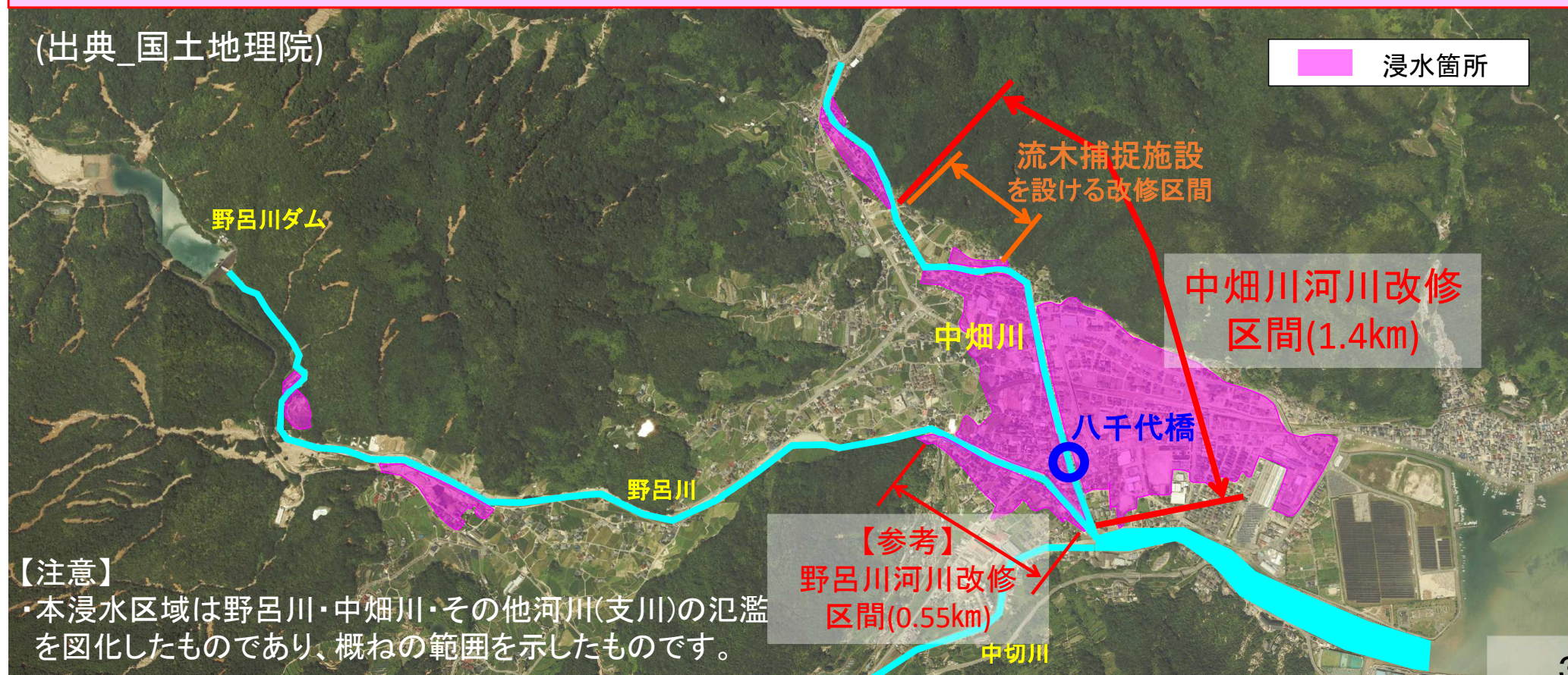
■整備目標

- 平成30年7月豪雨と同規模の洪水から家屋浸水被害を防止します。
- 平成30年7月豪雨では、流木が橋などに引っ掛かり、河川断面を狭めたことが浸水の要因の一つとなったことを踏まえ、流木に対する対応も行います。

■整備内容

- 野呂川合流点から上流側1.4km付近までの河川断面を広げる工事を行います。
- 1km～1.4kmの区間内には、上流から流れてきた流木を捕捉するための施設を設置します。
- 川幅が広がるため、橋梁については架け替え工事を行います。

(出典_国土地理院)



【注意】

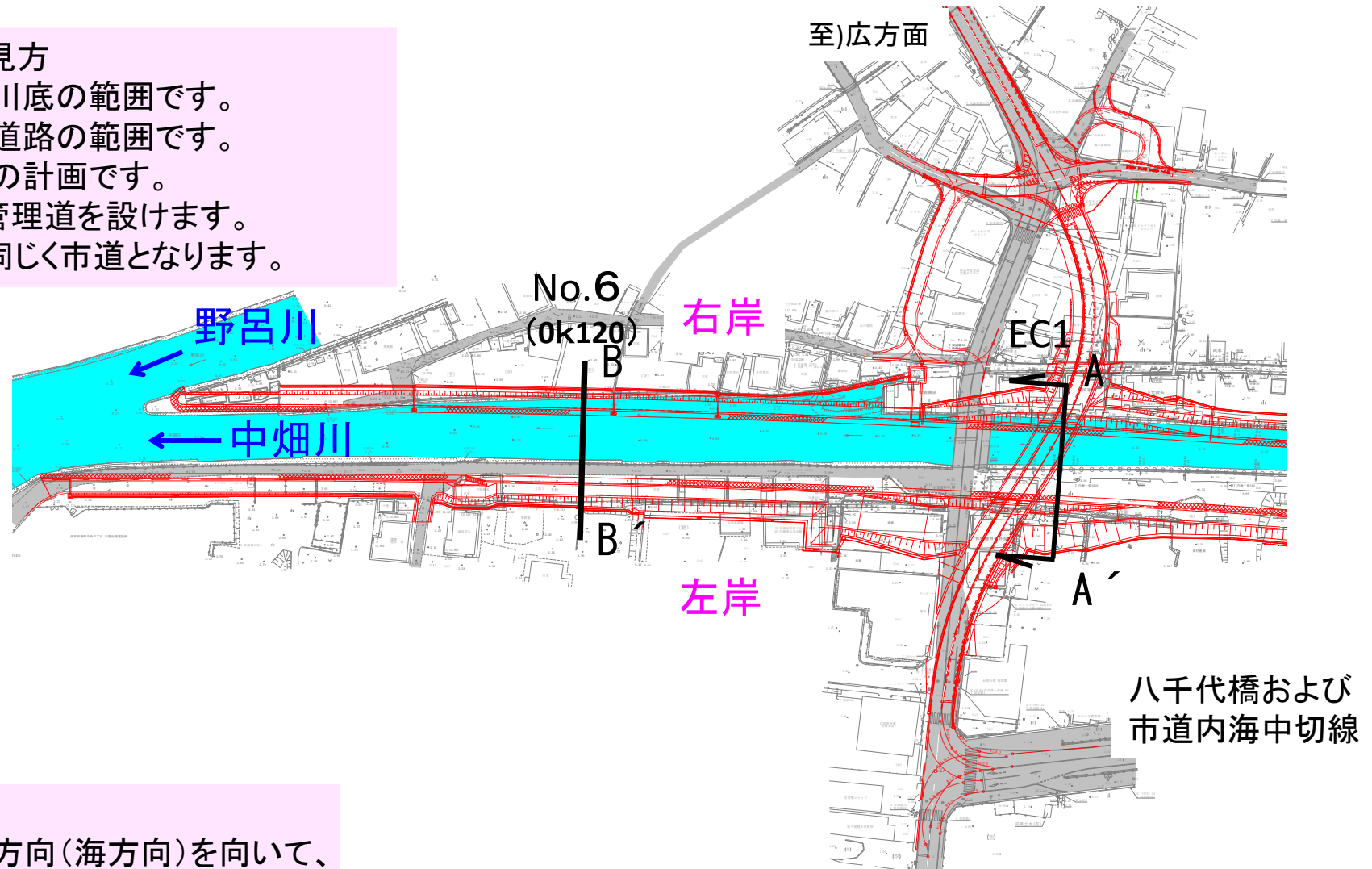
・本浸水区域は野呂川・中畑川・その他河川(支川)の氾濫を図化したものであり、概ねの範囲を示したものです。



- 洪水がスムーズに流れるよう、できる限り直線となるような河道計画としています。
- 左岸側拡幅としています。
- 河川改修は下流側から工事を進めていきます。

(注釈) 平面図の見方

- ・水色が現在の川底の範囲です。
- ・灰色が現在の道路の範囲です。
- ・赤色が本事業の計画です。
- ・護岸に沿って管理道を設けます。
- ・左岸は現在と同じく市道となります。



右岸・左岸とは？

- ・川が流れて行く方向（海方向）を向いて、右側を右岸、左側を左岸と呼びます。

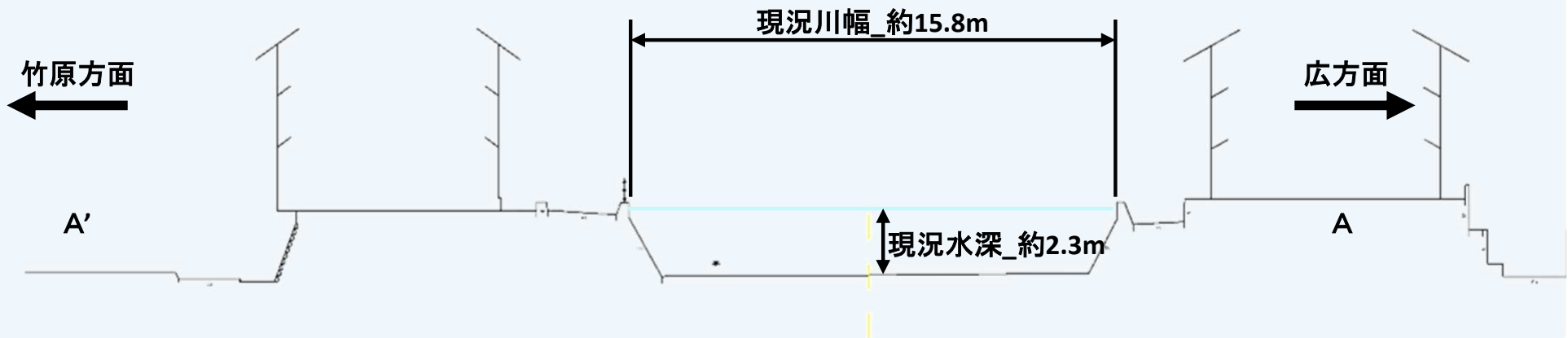
至)竹原方面



- A-A'断面の現況横断面図です。
- 上流から下流を見た断面図になります。

A-A'横断面図

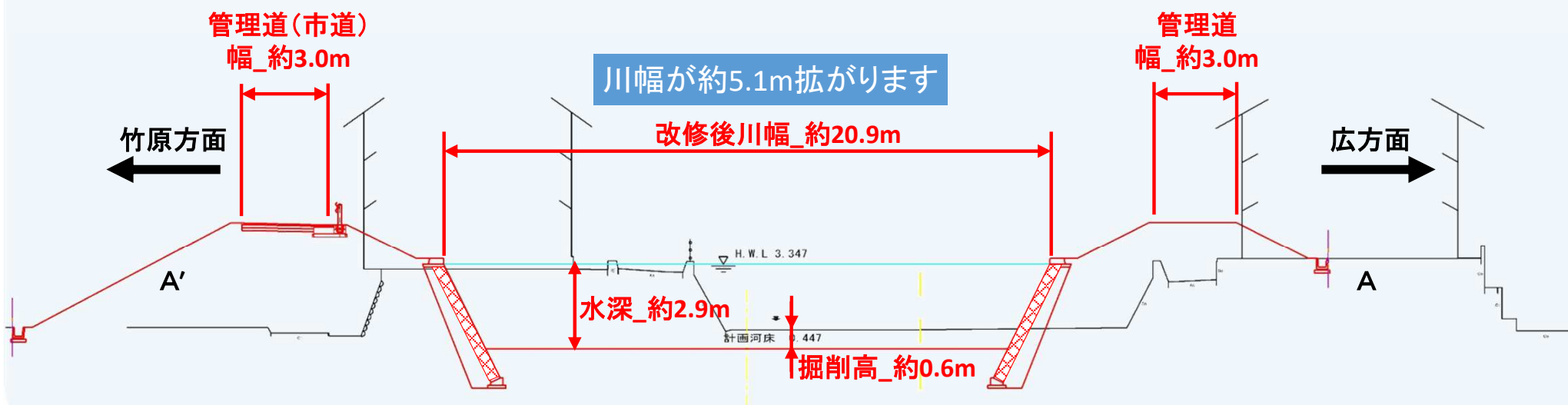
現況



- A-A'断面の河川計画の横断図です。
- 左岸側拡幅としています。
- 兩岸に管理道を設置します。

A-A'横断図

河川計画

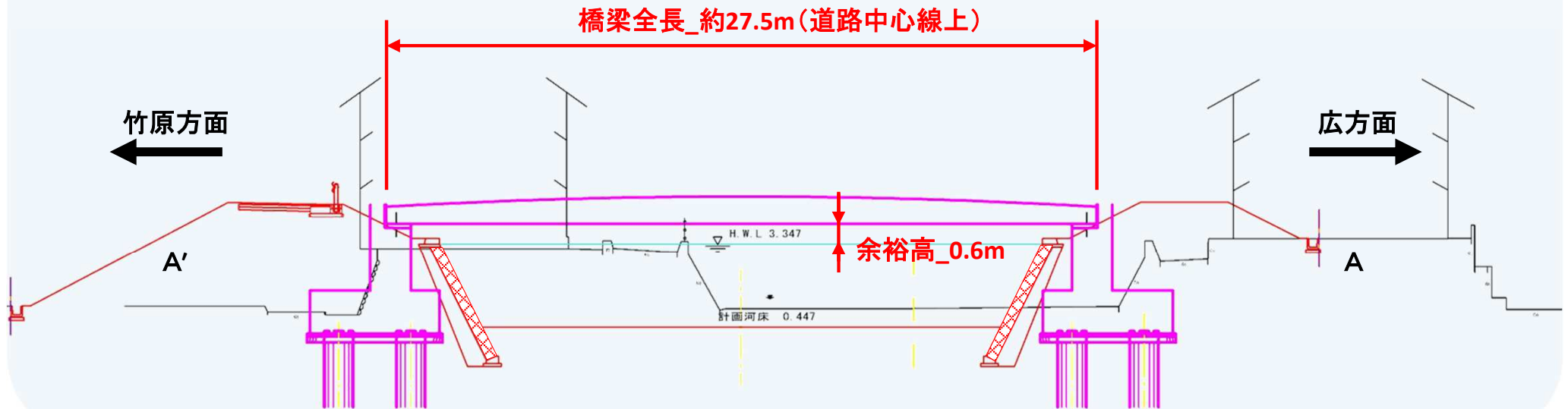




- A-A'断面の橋梁計画の横断面図です。
- 計画水面から余裕高0.6mを確保し、橋梁を設置します。

A-A'横断面図

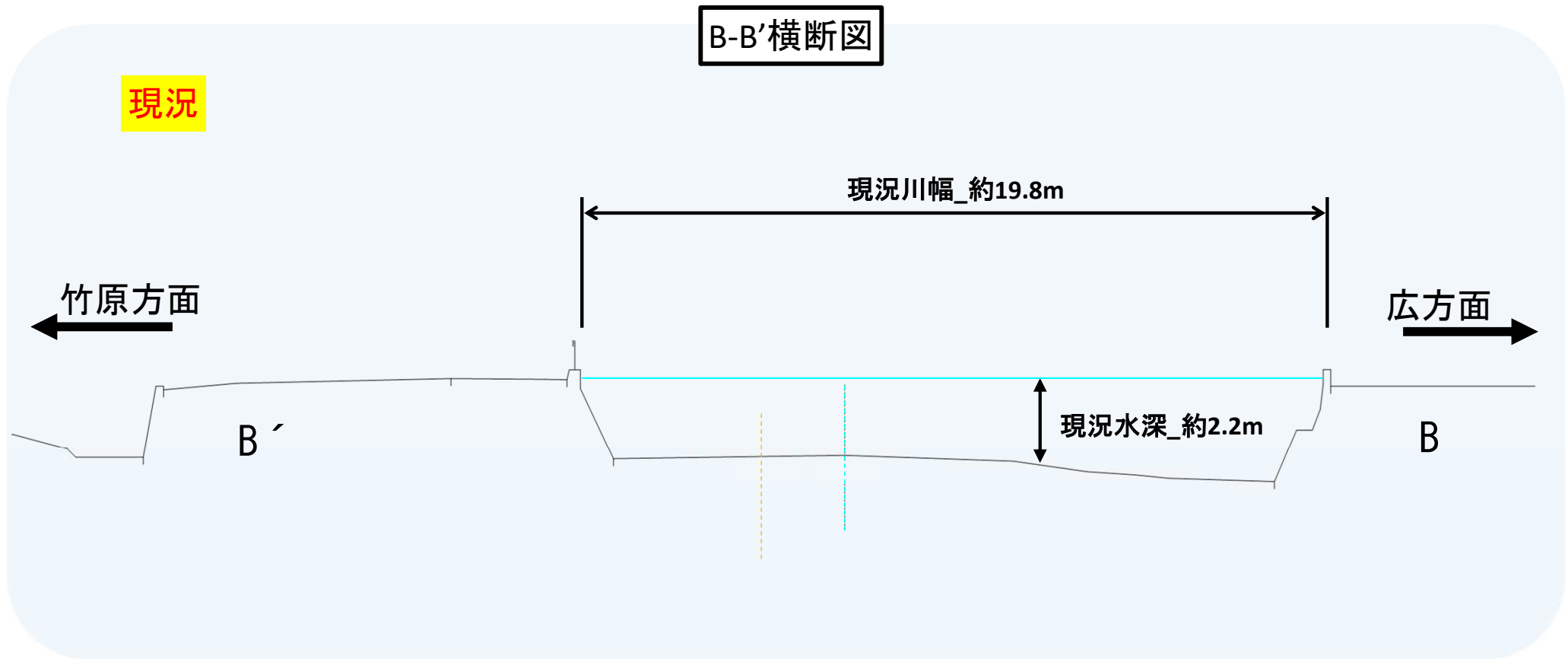
橋梁計画





■B-B'断面の現況横断図です。

■上流から下流を見た断面図になります。





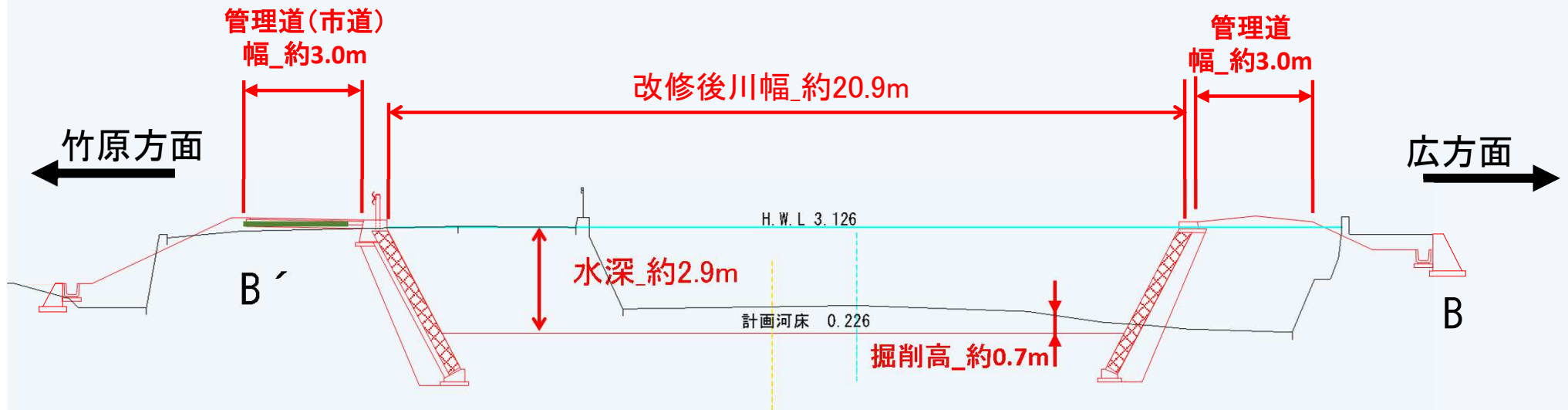
■B-B'断面の河川計画の横断図です。

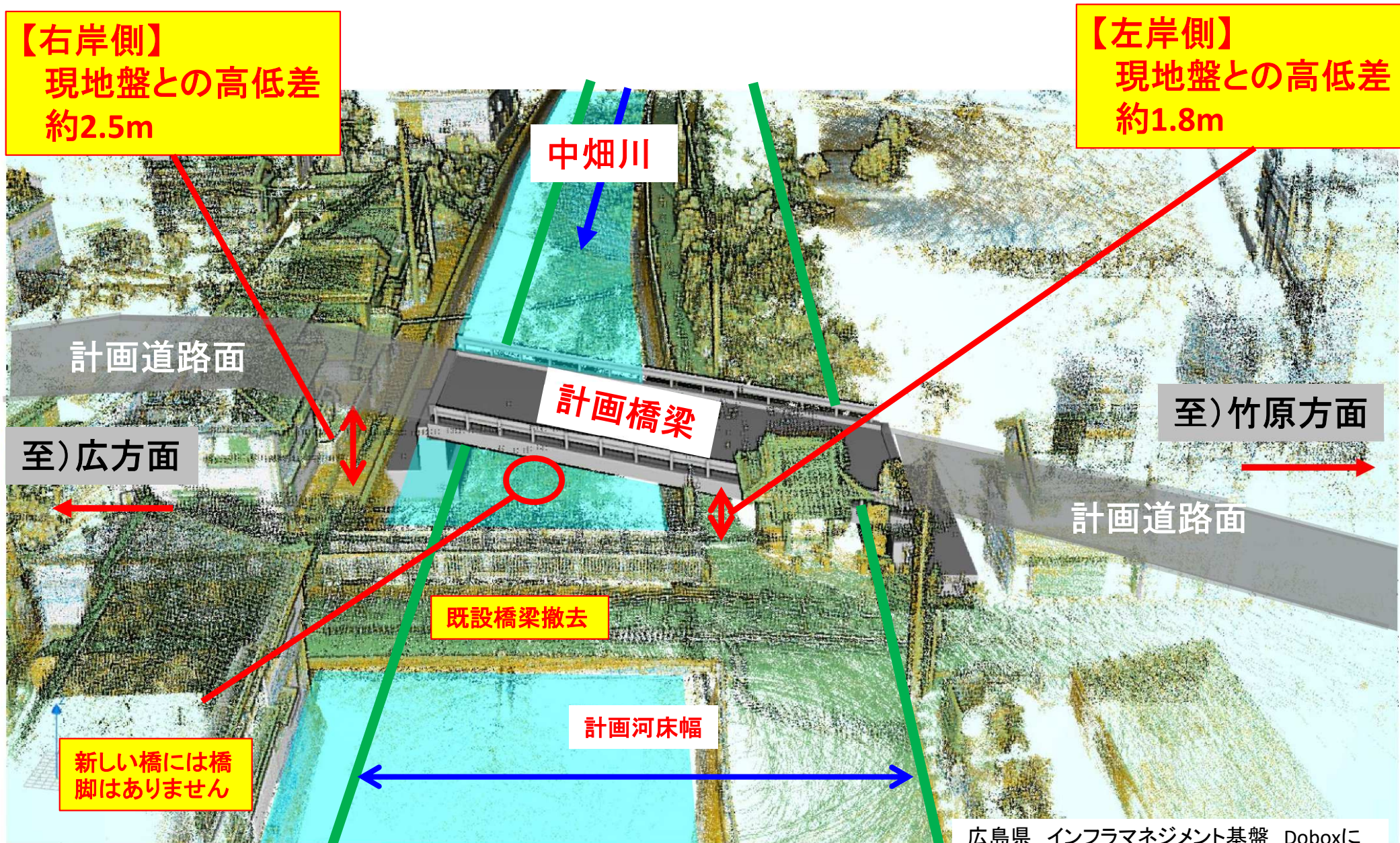
■左岸側拡幅とし、平成30年7月豪雨と同規模の流量を流す計画としています。

■兩岸に管理道を設置します。

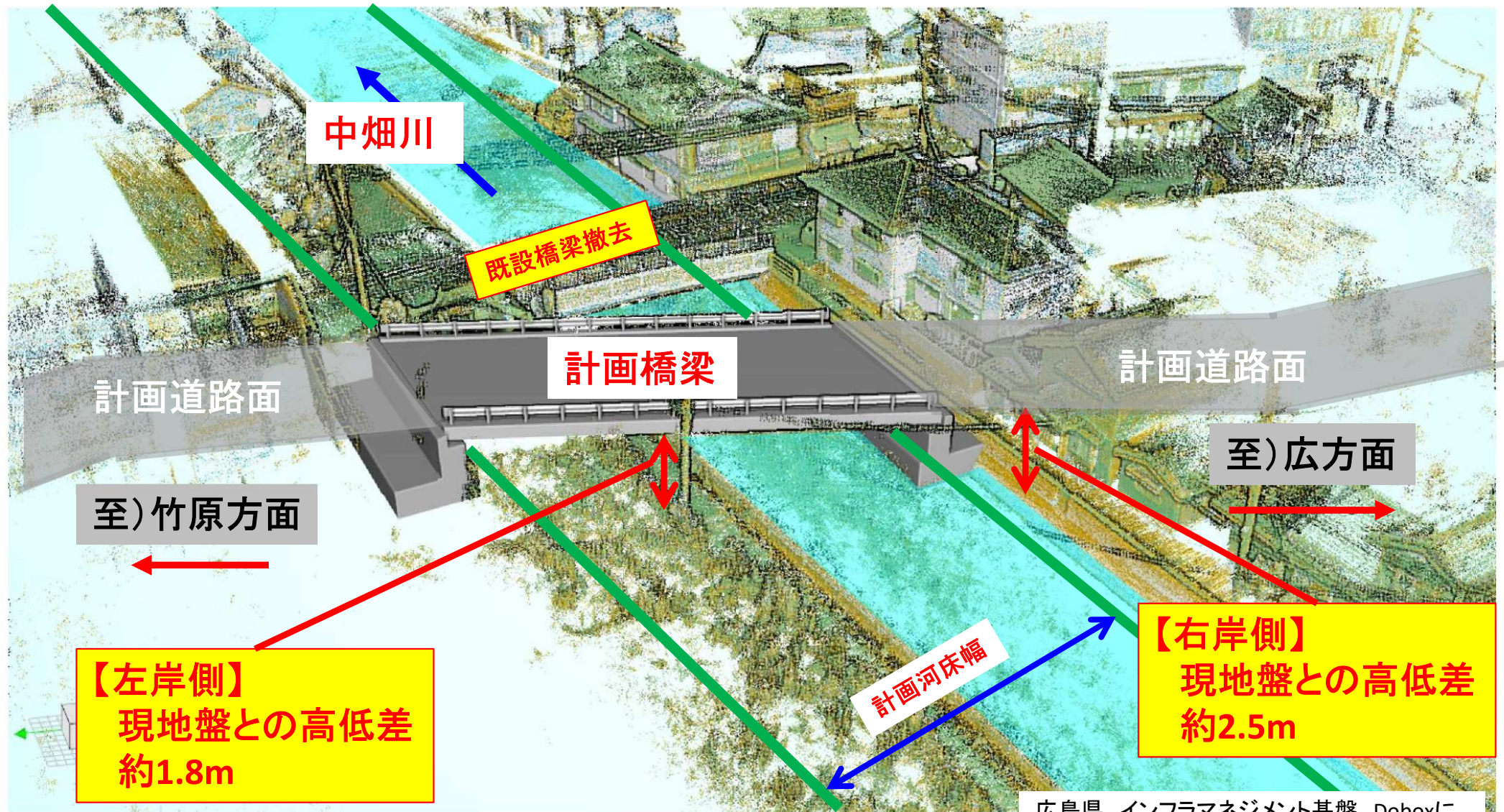
B-B'横断図

河川計画

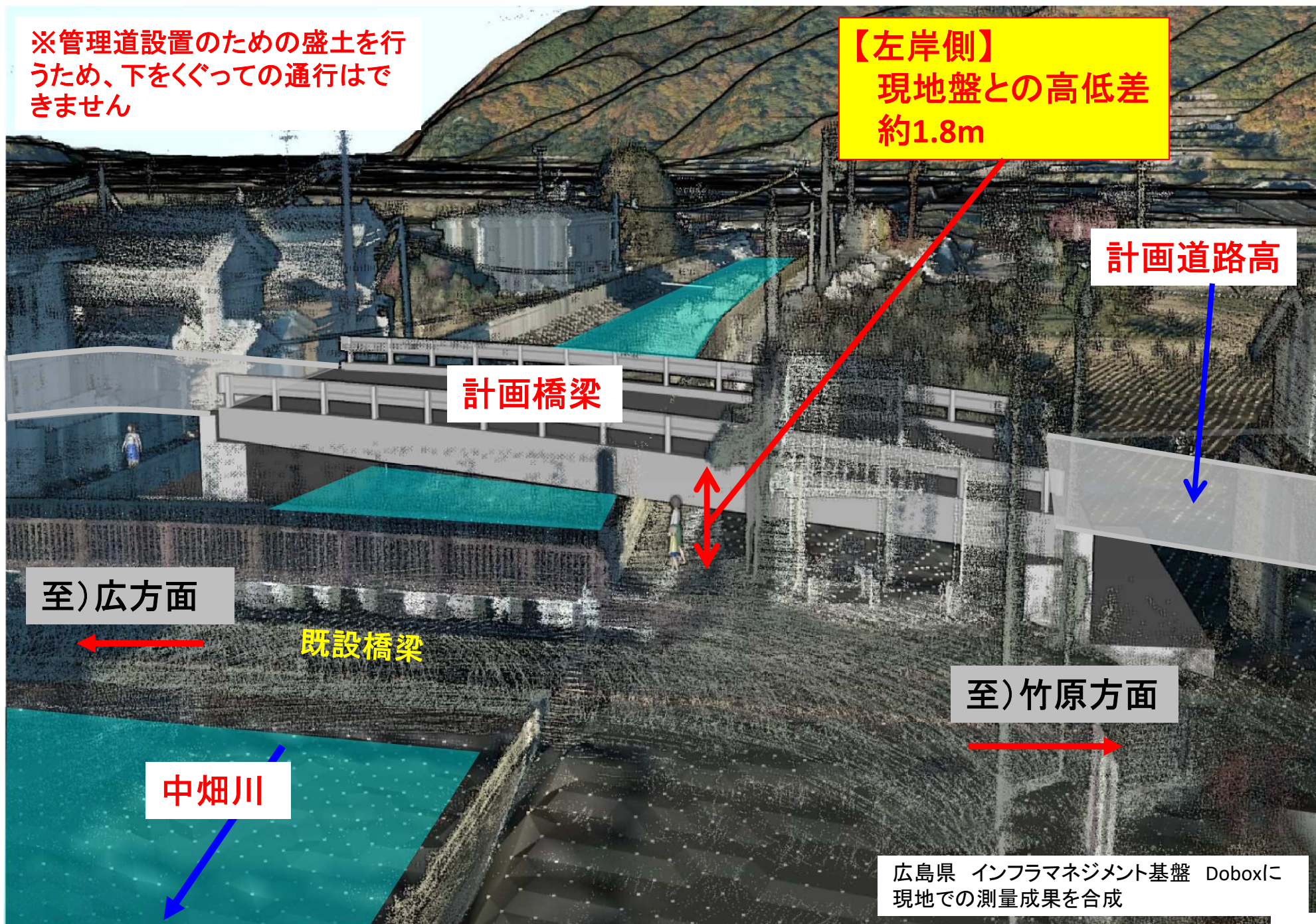


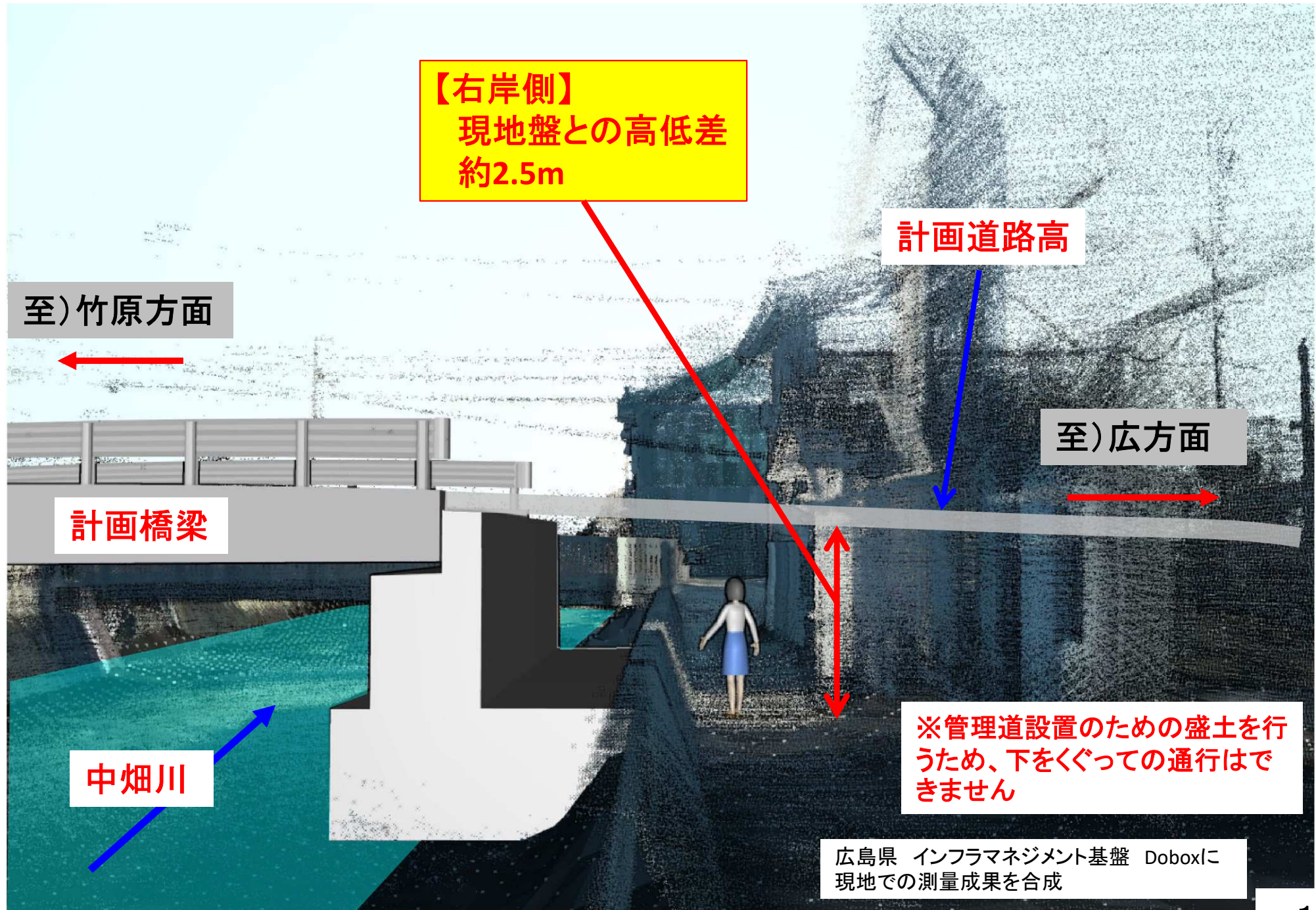


広島県 インフラマネジメント基盤 Doboxに
現地での測量成果を合成



広島県 インフラマネジメント基盤 Doboxに
現地での測量成果を合成

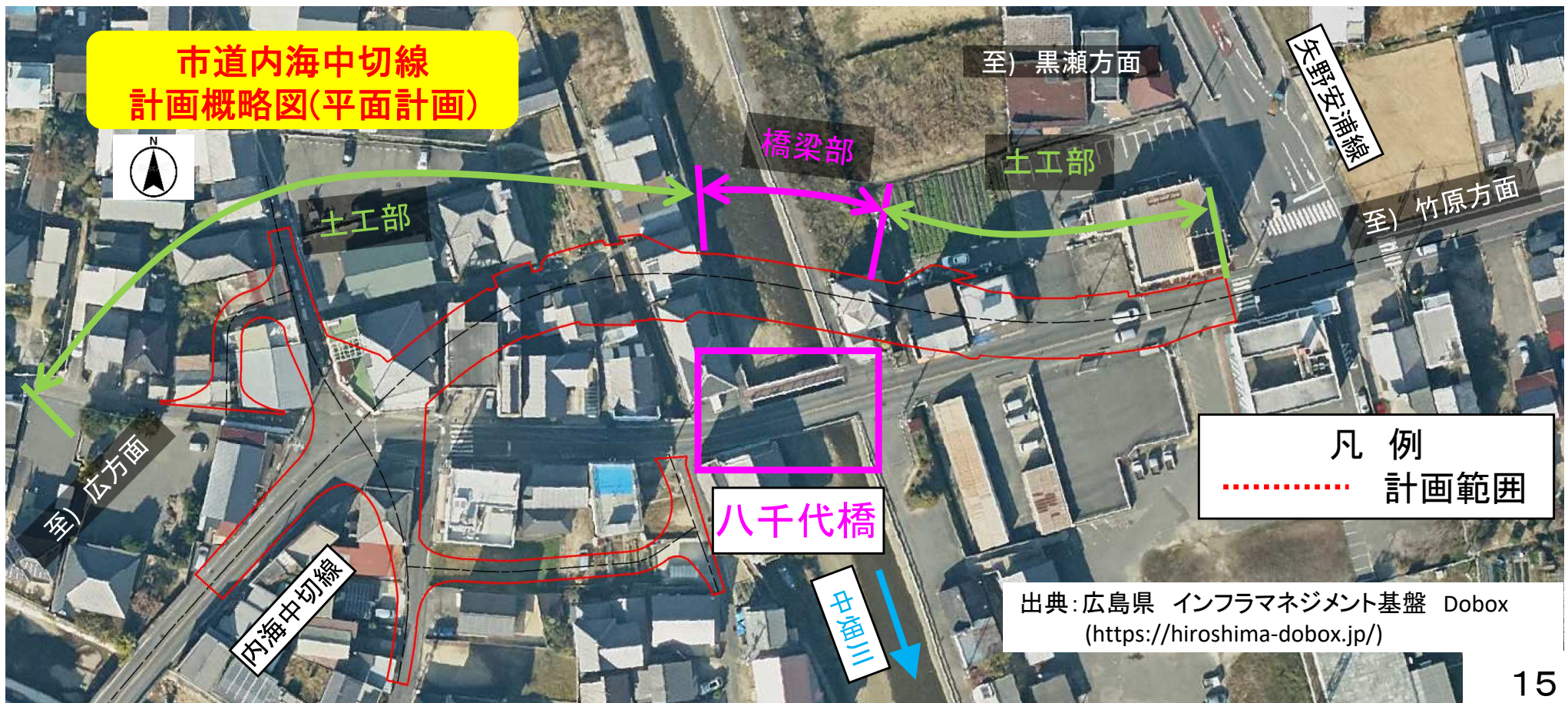








- ①架け替える八千代橋は、川幅の拡幅による橋梁の延長、橋梁の桁下高の確保(流木対策)、水を流れやすくするために橋脚を設置しない橋梁としました。
- ②現況位置への架け替えが困難、工事の際の交通確保、走行性向上等の理由により、上流側へ新しい橋を計画しました。
- ③橋梁の架け替えに伴い、新しい道路、及び交差点を計画しました。交差点の改良により、見通しの改善、食い違い形状の解消を図りました。

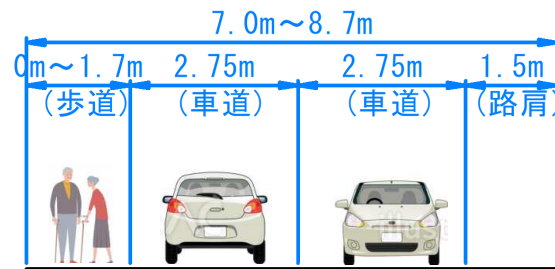




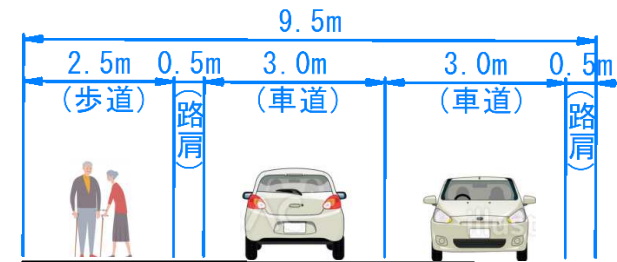
市道内海中切線 標準幅員

土工部

現況幅員

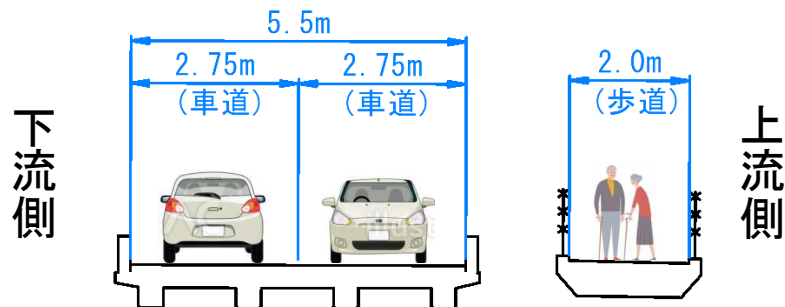


計画幅員

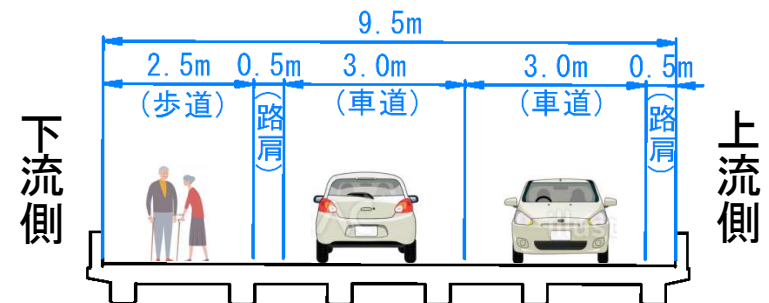


橋梁部

現況幅員



計画幅員



■合流点～八千代橋付近の拡幅工事については、関係地権者様へ説明・ご了解のもと工事に必要な用地買収を行います。

		令和5年度			令和6年度												令和7年度				令和8年度	備考
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	第1	第2	第3	第4		
（合流点川の八千代橋付近）	説明会			★						★		説明会（八千代橋詳細設計）										
	橋梁・道路概略設計	→																				
	橋梁・道路詳細設計				→																	
	用地測量（丁張、幅杭設置）等											→										
	用地買収等																概ね下流側から順次実施					
	工事実施																まとまった一定区間での用地買収後、工事着手					

（※スケジュールは現時点での予定であるため、変更の可能性があります。）



用地測量とは？



用地幅杭設置・境界復元作業



関係地権者様との境界確認

用地幅杭、土地境界点を復元し、境界を地権者の方の立会のうえ、確定する作業です。

幅杭、用地測量の杭設置に際しては必要最小限の範囲で民地に立ち入らせていただき、標杭を設置します。その際に下草の伐採をさせていただく場合があります。また、測量に支障となる雑立木がある場合は、個別にご相談させていただきます。

設置標杭イメージ

黄色の杭（用地仮幅杭設置用）
赤色の杭（仮境界杭設置用）



赤色の傘を付けた鋤
（仮境界杭設置用）

黄色の傘を付けた鋤
（用地仮幅杭設置用）



用地幅杭、土地の境界を明示するため、頭部を着色した木杭・金属鋤の設置またはマーキングで明示します。

〔本資料及び中畑川河川改修工事に関するお問い合わせ先〕
広島県西部建設事務所呉支所 野呂川ダム管理事務所

 (電話) 0823-84-3116

 (メール) djwknorogawa@pref.hiroshima.lg.jp

 (ファックス) 0823-84-6850